

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認のうえ、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理を
依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

お客様相談センター【ご利用時間 9:00～18:00】※全日対応(土・日・祝日対応)

●フリーダイヤル

☎ 0120-20-8822 ※携帯電話、IP 電話からもご利用いただけます。

全国営業拠点

■支店の移転等により連絡がとれない場合は、下記のアドレスから
最新の電話番号をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>



●北海道支店	TEL (011) 786-5122	●北陸支店	TEL (076) 263-4311
●東北支店	TEL (022) 288-8676	●関西支店	TEL (06) 7167-3644
●東京支店	TEL (03) 5753-7703	●中国支店	TEL (082) 504-8282
●関東支店	TEL (03) 6374-5687	●四国支店	TEL (087) 863-6761
●中部支店	TEL (052) 533-0231	●九州支店	TEL (092) 621-5772

工機ホールディングス株式会社

〒108-6018 東京都港区港南 2 丁目 15 番 1 号 (品川インターシティ A 棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>

部品コード C99713503 308 M

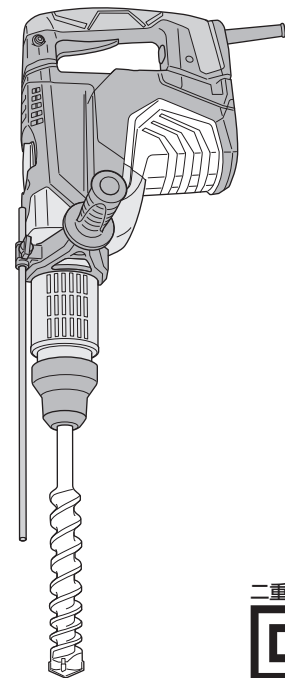
HIKOKI

取扱説明書

ハンマドリル [SDS-max シャンクタイプ]

45 mm **DH 45MEY**

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



用途

- コンクリートの穴あけ
- アンカ下穴の穴あけ
- コンクリートのハツリ、破碎、溝掘り、
角出し、切断、はがし

はじめに

電動工具の安全上のご注意	1
二重絶縁について	5
本製品の使用上のご注意	6
各部の名称	7
標準付属品	8
仕様	8
別売部品	9

使い方

ご使用前の点検	11
工具の取付け・取りはずし	12
スイッチについて	13
作業モードの設定	13
連続運転ボタンについて	14
通電ランプについて	15
回転数・打撃数の調整	15
保護機能について	16
ストッパの使い方	17
スリックラッチ機構について	18
穴をあける	19
ハツリ・破碎する	21
ドリルチャックの使い方	23
テーパシャンクアダプタの使い方	24
コアビットの使い方	25

その他

保守・点検	27
ご修理のときは	裏表紙

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

電動工具の安全上のご注意

⚠警告

感電、火災、重傷を招く事故を未然に防ぐため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

なお、文中の「電動工具」とは、電源式（コード付き）電動工具を示します。

作業場の安全性

- ① 作業場は整理整頓して、十分な照明を確保してください。
散らかった暗い場所や作業台は、事故を招く恐れがあります。
- ② 爆発を誘引することがある可燃性の液体やガス、または粉じんがある所で電動工具を使用しないでください。
電動工具から発生する火花が発火の原因になります。
- ③ 電動工具の使用中は、子供や第三者を近づけないでください。
注意が散漫になり、操作に集中できなくなる場合があります。

電気に関わる安全性

- ① 電動工具の電源プラグに合ったコンセントを使用してください。電源プラグを改造しないでください。また、アダプタプラグをアース（接地）された電動工具と一緒に使用しないでください。
改造していない電源プラグおよび、それに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクは軽減されます。
- ② 電動工具の使用中は、金属製のパイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などアース（接地）されている物に体を接触させないようにしてください。
体が触れた場合、感電のリスクを増大させます。

⚠警告

屋外で使用する際には、③～⑤の注意が必要です。

- ③ 電動工具は、雨または湿気がある状態にさらさないでください。
電動工具に水が入ると、感電のリスクが増大します。
- ④ コードを乱暴に扱わないでください。
 - 電動工具を移動させたり、引いたり、または電源プラグを抜くためにコードを利用しないでください。
 - コードは、熱、油、角のつがった所、または動く物からはなしておいてください。コードが損傷したり、絡まったりすると、感電のリスクが増大します。
- ⑤ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
屋外使用に適したコードを使用すれば、感電のリスクは軽減されます。

人への安全性

- ① 電動工具の使用中は、油断をせず、常識を働かせ、いま自分が何をしているかに注意して作業してください。
疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいるときは使用しないでください。一瞬の不注意で、深刻な傷害を招く場合があります。
- ② 安全保護具を使用してください。
 - 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
 - 滑り防止安全靴やヘルメット、耳栓やイヤマフなどの安全保護具を使用することで、傷害のリスクが軽減されます。
- ③ 不意な始動を避けるため、電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
スイッチに指を掛けて運んだり、スイッチが入っている電動工具の電源プラグをさし込むと、不意に始動し事故を招く恐れがあります。
- ④ 電動工具の電源を入れる前に、レンチや調整キーをはずしてください。
工具の回転部分にレンチやキーなどを付けたままにしておくと、傷害を招く恐れがあります。
- ⑤ 無理な姿勢で作業をしないでください。
常に適切な足場とバランスを維持することで、予期しない状況でも電動工具をより適切に操作することができます。
- ⑥ きちんとした服装で作業してください。
 - だぶだぶの衣服や装飾品は着用しないでください。
 - 髪や衣服、および手袋を回転部に近づけないでください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ 集じん装置が接続できる物は、適切に使用してください。
粉じんによる人体への悪影響を軽減することができます。

⚠ 警告

電動工具の使用および手入れ

- ① 無理に使用せず、用途に合った電動工具を使用してください。
用途に合った電動工具を使うことでより良く、安全な作業が行えます。
- ② スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は事故を招く恐れがあるので、使用せず修理を依頼してください。
- ③ 誤作動防止のため、次の作業前は電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - 準備や調整。
 - 付属品や別売部品の交換。
 - 保守・点検や保管。
 - その他、危険が予想される場合。このような安全対策によって電動工具を誤って始動させるリスクが軽減されます。
- ④ 使用しない電動工具は、子供の手の届かない所に保管し、電動工具に不慣れな者や取扱説明書を読んでいない者には電動工具を使用させないでください。
電動工具を扱い慣れていない者に渡すと事故の原因になります。
- ⑤ 電動工具の保守・点検を適切に行ってください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 異常がある場合は、使用する前に電動工具の修理を行ってください。電動工具の保守が不十分であることが、事故の原因となります。
- ⑥ 先端工具は、鋭利かつ清潔に保ってください。
先端工具を適切に手入れし、先端を鋭利に整えておくことで、作業を円滑にし操作が容易になります。
- ⑦ 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具などは、作業条件や、実際の作業を考慮し、取扱説明書に従って適切に使用してください。
取扱説明書に書かれていない使用方法で作業すると、傷害を招く恐れがあります。
- ⑧ 電動工具は異常な高温、または低温の場所で使用すると能力を十分発揮できません。

整備

- ① 電動工具の修理は、修理専門要員が純正交換部品だけを用いて行ってください。
これにより電動工具の安全性を維持することができます。

その他の項目

- ① 取扱説明書はお読みになった後も、使用する方がいつでも見られる所に大切に保管し、利用してください。
他の人に電動工具を貸し出す際は、取扱説明書も一緒にお渡しください。

⚠ 警告

- ② 十分な防じん対策や飛散防止対策をしてください。
特に、人体に有害な成分を加工するときは注意してください。
- ③ アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用しないでください。
アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。
- ④ 加工する物をしっかりと固定してください。
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑤ 作業前に確認してください。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
 - 巻き込まれる恐れのある手袋はしないでください。
 - 安全の責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
 - 保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定の機能を発揮するか確認してください。
 - コードや延長コードは事前に点検し、損傷している場合には修理・交換してください。
 - 屋外で延長コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。
- ⑥ 電動工具は取扱説明書に従い、正しく使用してください。
 - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - 安全に能率良く作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
 - 電動工具は指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑦ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外の物を使用しないでください。
- ⑧ メンテナンスをきちんと行ってください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - 損傷した保護カバー、その他の部品交換は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
 - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
 - アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用した電動工具の保守・点検・修理は受付できません。

二重絶縁について

二重絶縁とは、電気が流れる部分と手に触れる外枠部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されている構造のことです。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されるため感電しにくい構造です。

お求めの製品は二重絶縁構造であり、銘板に  マークで表示してあります。
純正品以外の部品と交換したり、間違って組み立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。電気系統の修理や部品の交換はお買い求めの販売店に依頼してください。

本製品の使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ハンマドリルについて、次に述べる注意事項を守ってください。

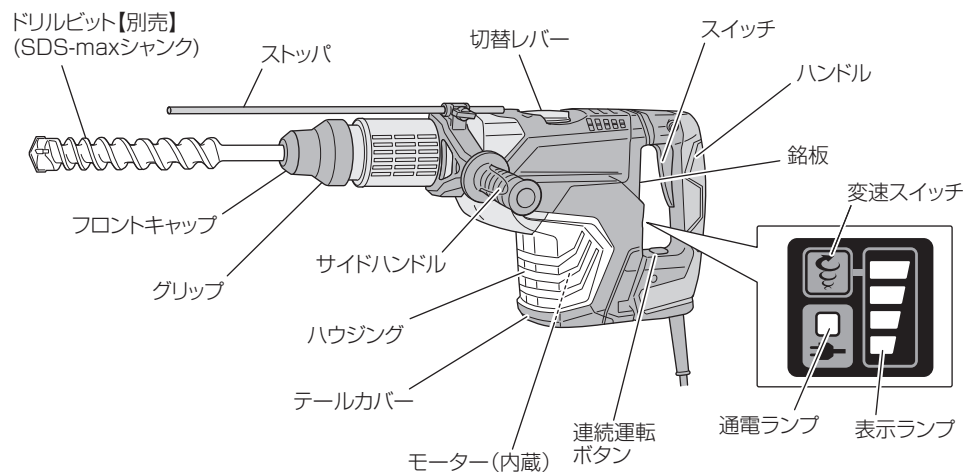
⚠警告

- ① **使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。**
表示を超える電圧で使用すると、速度が異常に速くなり、けがの原因になります。
- ② **直流電源や昇圧器などのトランス類で使用しないでください。**
製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。
- ③ **作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。**
埋設物があると先端工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ④ **使用中は、サイドハンドルを取付け、振り回されないように機体を両手で確実に保持してください。**
- ⑤ **使用中は、工具類に手や顔などを近づけないでください。**
- ⑥ **使用中、機体が高温になったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。**
- ⑦ **誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、工具類や機体などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。**

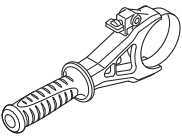
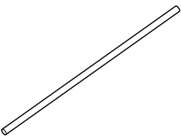
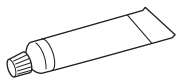
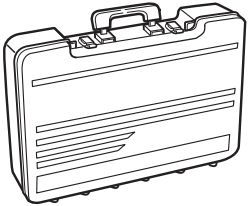
⚠注意

- ① **付属品や別売部品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。**
- ② **使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。**
- ③ **使用中は、ヘルメット、安全靴を着用してください。**
- ④ **使用直後の工具類は高温になっているので、触れないでください。**
- ⑤ **高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。また、コードを引っ掛けたりしないでください。**
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑥ **運転させたまま、台や床などに放置しないでください。**
- ⑦ **作業の際、機体を無理に押し付けないでください。**
先端工具を傷めて作業効率が低下するだけでなく、機体が故障する原因になります。

各部の名称



標準付属品

サイドハンドル 	ストッパ 
ハンマグリース A 	プラスチックケース 

仕 様

形 名	DH 45MEY
使 用 電 源	単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100 V
穴 あ け 能 力	ドリルビット 45 mm、コアビット 125 mm
消 費 電 力	1,500 W
無 負 荷 回 転 数	120～270 min ⁻¹ {回/分}
全 負 荷 打 撃 数	1,200～2,500 min ⁻¹ {打撃/分}
モ ー タ ー	ブラシレスモーター
質 量 [コードを除く]	9.7 kg [サイドハンドルを除く]
コ ー ド	2 心キャブタイヤケーブル 5 m
振 動 3 軸 合 成 値 ^{※1}	回転+打撃 8.8 m/s ² ^{※2} 打撃 9.2 m/s ²

※1: 振動 3 軸合成値 (周波数補正振動加速度実効値の 3 軸合成値) については、JEMA [一般社団法人日本電機工業会]

ウェブサイト: <https://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html> を参照してください。

※2: 振動 3 軸合成値は、EN60745-2-6 規格に基づき測定しています。

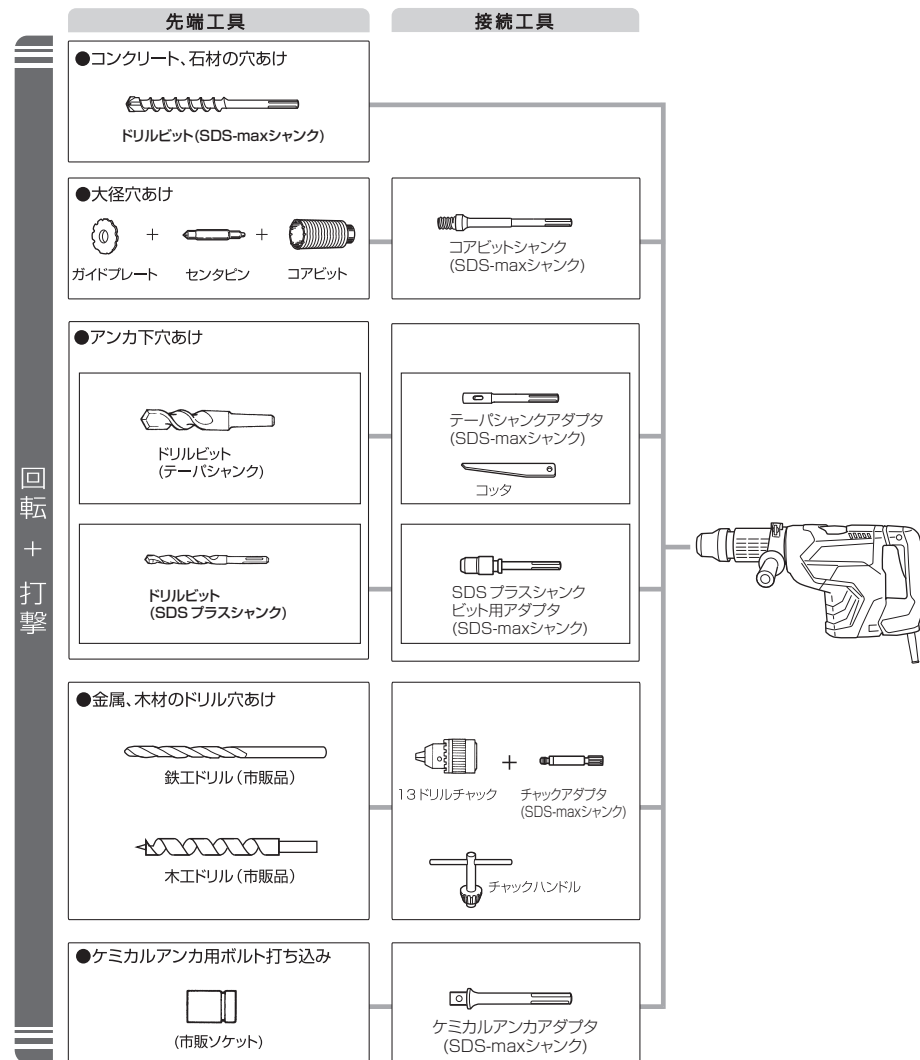
別売部品 (別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください。)

用途に応じたアタッチメントをご使用いただくことで、いろいろな作業にご利用できます。

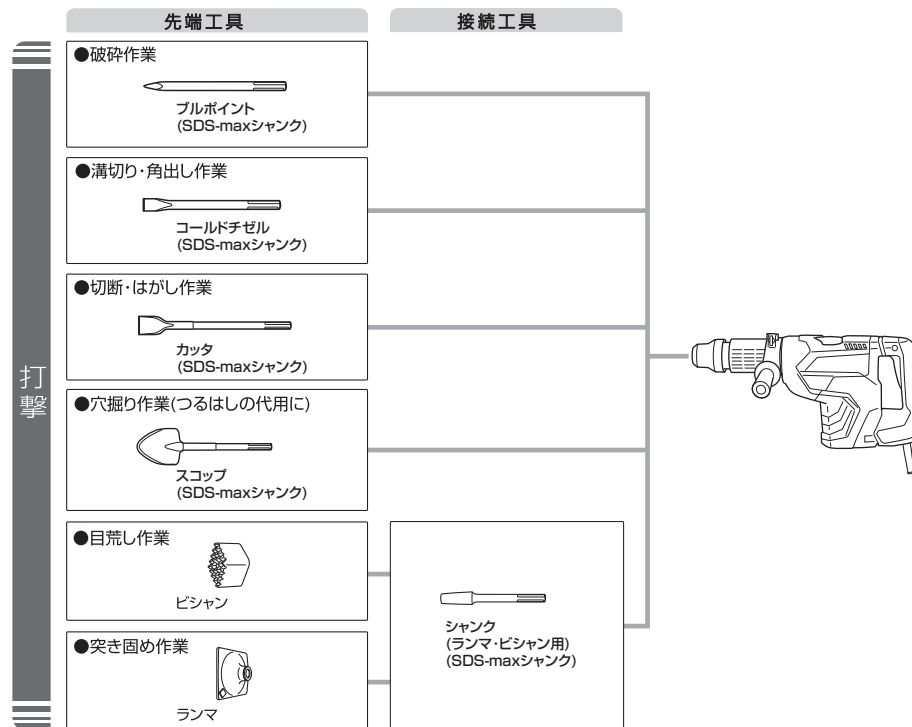
各部寸法等につきましては、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

なお、この機体の工具取付け部は SDS-max シャンク品専用となっておりますので、SDS-max シャンクの先端工具または各種アダプタ (接続工具) を使用してください。

● "回転 + 打撃" モードで使用

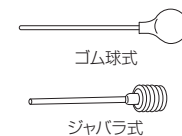


● "打撃" モードで使用



● その他

● スポイト (穴あけ後の切り粉除去用)



ご使用前の点検

●漏電しゃ断器の設置

本製品は二重絶縁構造のため、法令により漏電しゃ断器の設置は免除されています。しかし、万一の感電を防止するためにも漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをお勧めします。

●延長コードを使う場合

延長コードは公称断面積 1.25mm² 以上の太さで、右表の「最大長さ」よりも短い物を使用してください。

⚠警告

延長コードは損傷のない物を用意してください。

公称断面積 (mm ²)	最大の長さ (m)
1.25	10
2	15
3.5	30

●使用電源の確認

- 銘板に表示してある電源で使用してください。
表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に速くなり、機体が破壊する恐れがあります。
- 直流電源や変圧器、溶接機などの電源で使わないでください。
製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

●コンセントの確認

電源プラグがガタついたり、抜けやすいコンセントは修理が必要です。

修理には電気工事士の資格が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。修理せずにそのまま使用すると、過熱して事故の原因になります。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

工具の取付け・取りはずし

⚠警告

工具の取付け・取りはずしの際、事故を防止するため、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

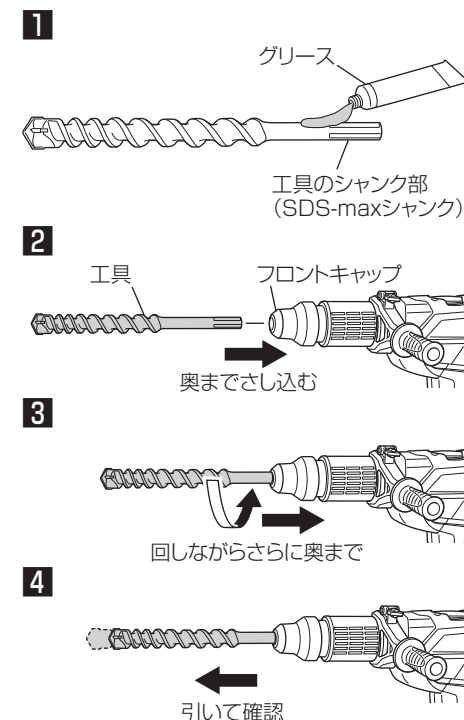
⚠注意

工具は、弊社指定の別売部品を使用してください。
(P.9、10「別売部品」参照)

この機体の工具取付け部は SDS-max シャンク品専用となっておりますので、SDS-max シャンクの先端工具または各種アダプタ (接続工具) を使用してください。

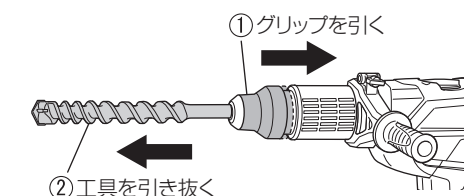
取付け

- 1 工具のシャンク部をきれいにふき、グリースまたは機械油を塗布します。
- 2 工具をフロントキャップの穴にさし込み、奥まで突き当てます。
- 3 工具を軽く押しながら回していくと、工具の溝がかみ合ってさらに奥まで入って突き当たります。
- 4 確実に工具が固定されたか、工具を引いて確認します。



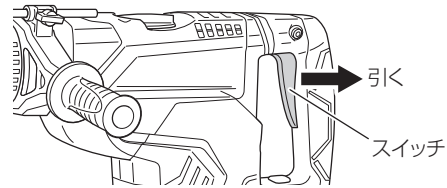
取りはずし

工具を取りはずすときは、グリップを矢印方向に引きながら、工具を引き抜きます。



スイッチについて

スイッチは引くと入り、はなすと切れます。



作業モードの設定

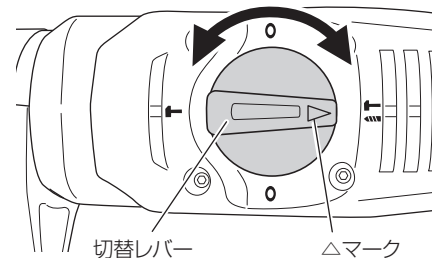
⚠注意

- モーター停止時に切替レバーを操作してください。
モーターの回転中に切り替えると、不意に工具が回り、思わぬ事故の原因になります。
- ハツリ・破碎用工具などは"打撃"モードで使用してください。
"回転+打撃"モードで使用すると、工具が回り、思わぬ事故の原因になります。

作業モードの設定

切替レバーを回して△マークをクラシクカバーの各マーク位置に合わせます。

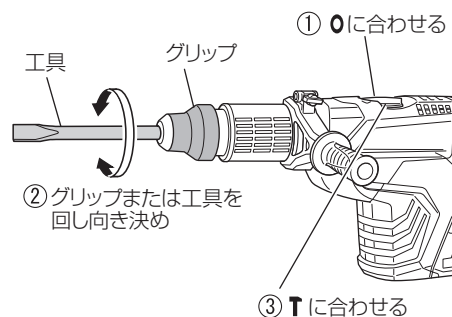
- IT** "回転+打撃" モード
T "打撃" モード
O 工具の位置決め



工具の位置決め

コールドチゼルやスコップなどの工具先端の向きを決めるときは、

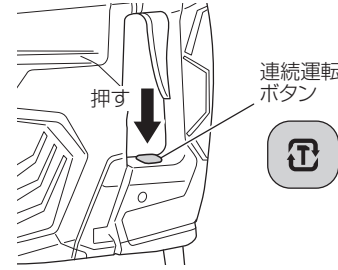
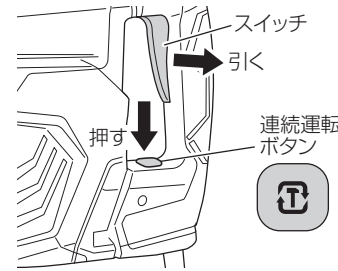
- ① △マークを**O**に合わせて
- ② グリップまたは工具を回して、工具先端の向きを決めます。
- ③ 切替レバーを再び回して、△マークを**T**に合わせます。
- ④ 工具が回転しないことを確認します。



連続運転ボタンについて

"打撃"モードで作業する場合のみ、連続運転ボタンを押すと、スイッチを引かなくても連続して打撃作業を行うことができます。

注 "回転+打撃"モードでは、連続運転ボタンは使用できません。

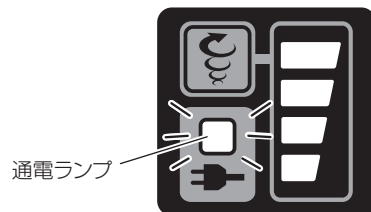
作業モード	操 作
T "打撃"	運 転 ① 連続運転ボタンを押す。 (青色LED：点灯) ② ゆっくりと打撃がスタートし、約3秒間で設定した打撃数に達します。 
	解 除 連続運転は、次の操作どちらでも解除可能。 • スイッチを引く • 連続運転ボタンを、再度押す 
IT "回転+打撃"	連続運転ボタンは使用できません。

注 連続運転中にスイッチを引くと、連続運転が解除されます。不用意に運転を停止しないように手をスイッチからずらし、図のようにハンドル下部を握って作業してください。



通電ランプについて

電源プラグをコンセントにさし込むと、通電ランプが点灯します。

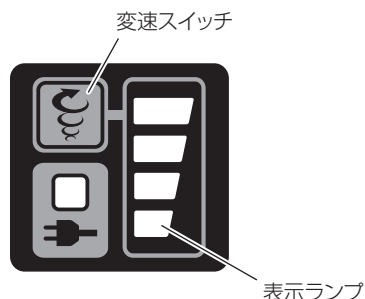


回転数・打撃数の調整

回転数・打撃数を調整する電子制御回路を内蔵しています。

もろい材料への穴あけ、ハツリ作業または芯出し作業など、作業内容により変速スイッチで回転数を切り替えてください。

変速スイッチを押すと、回転数が段階的に切り替わります。



注 モーターの回転中に変速スイッチを押しても切り替えはできません。本体を停止してから、操作してください。

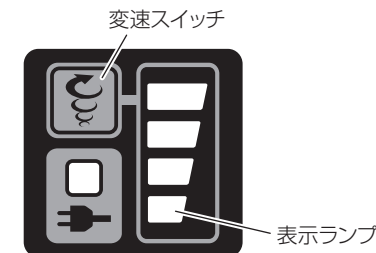
表示ランプ点灯状態				
回転数 $\text{min}^{-1}\{\text{回/分}\}$	120	170	220	270
打撃数 $\text{min}^{-1}\{\text{回/分}\}$	1200	1600	2100	2500

保護機能について

本機には機体に異常が発生した場合に、機体の損傷を防ぐ保護回路が内蔵されています。

次のような場合には、表示ランプが点滅して運転を停止します。表示ランプの点滅状況を確認して対処してください。

なお、変速スイッチは、スイッチを引いていない状態で押してください。



表示ランプ点滅状態	原因	対処方法
または	温度上昇保護機能により自動停止する温度域に近づいたため、徐々に回転数を下げた。 (パワー制御機能) ※表示ランプが2個、1個の場合はパワー制御機能は作動しません。	作業の負荷を下げて、温度が下がると、通常パワーで使用することができます。 作業を継続すると、温度保護機能により自動停止する場合があります。 (下段参照)
	内部温度が高温となり、規定値を超えたため、運転を停止した。 (温度上昇保護機能)	15～30分ほど機体を休めてください。 温度が下がると、変速スイッチを押した際に復帰します。
	機体に無理な力が加わり、過負荷状態となったため、運転を停止した。 (過負荷保護機能)	変速スイッチを押すと復帰します。 過負荷にならないよう作業してください。
	① 電圧が低すぎる、または高すぎる電源に接続されているため、起動しない。 もしくは運転を停止した。 ② 電源プラグの抜き差しを短い間隔で行ったため、電圧信号の読み取りエラーとなり、運転を停止した。 (回路保護機能)	① 銘板に記載された電源電圧に接続してください。 変速スイッチを押すと、復帰します。 ② 電源プラグの抜き差しは、3秒以上間隔を空けてください。 変速スイッチを押すと、復帰します。
	センサー信号の読み取りエラーのため、起動しない。 もしくは運転を停止した。 (制御監視機能)	変速スイッチを押すと復帰します。 連続して発生するときは、故障の可能性があります。

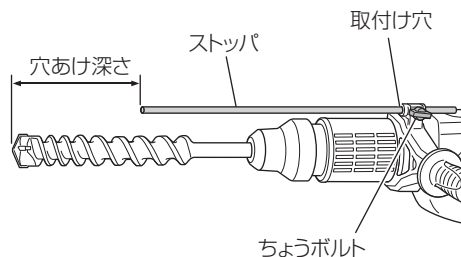
注 対処方法を行っても表示ランプが点滅し続ける場合は、機体の故障が考えられます。お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

ストップの使い方

付属のストップは穴あけ深さの調整に用いる物です。同じ深さの穴を連続してあける場合は、能率が上がり、穴の深さが正確になります。

- 1 ちょうボルトをゆるめ、サイドハンドルの取付け穴にストップを通します。

- 2 所定の穴深さになったときストップが材料に突き当たるよう位置を調整し、ちょうボルトを回してしっかりと固定します。



スリップクラッチ機構について

"回転+打撃"モードで作業する際、作業中の機体に急激に大きな負荷がかかったとき、

(注1)

モーターとドリルビットの間の伝達部をスリップさせて、直接大きな反力がかかること

(注2)

を防止します。

注1: コンクリートの穴あけ中に、鉄筋等に当たり急にドリルビットが止まろうとする力

注2: 先端工具が急に止まったとき、反動で工具本体側が回ろうとして、持っている手がねじられる力

- 注** スリップクラッチが作動し、ドリルビットの回転が停止した場合には、速やかにスイッチを切ってください。

穴をあける

"回転+打撃"モードで
コンクリート、アンカ下穴の穴あけ作業

⚠ 警告

- 工具・ストップの取付けや取りはずしの際、事故を防止するため、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- サイドハンドルとハンドルをしっかり握って作業してください。
工具が鉄筋などに当たると急に止まり、その反動で機体が回ろうとします。

注 気温の低いとき、あるいは長期間使用しなかったときなどは、5分間位空運転し、機体が暖まってから使用してください。
グリースが固くなっていて、工具が回転しても打撃しない場合があります。

1 工具を取付ける

P.12「工具の取付け・取りはずし」の手順に従い工具を取付けます。

2 必要に応じてストップを取付ける

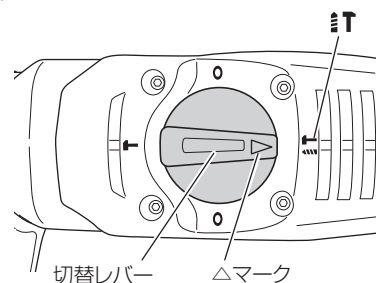
P.17「ストップの使い方」参照

⚠ 注意

作業の際、機体を無理に押し付けないでください。
先端工具を傷めて作業効率が低下するだけでなく、機体が故障する原因になります。

3 作業モードを"回転+打撃"に切り替える

△マークをITに合わせます。
(P.13「作業モードの設定」参照)



4 電源プラグをコンセントにさし込む

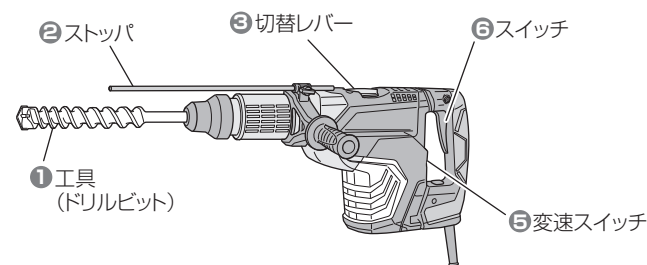
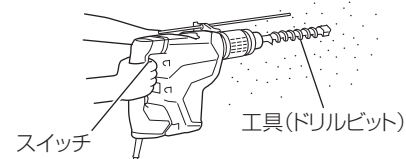
通電ランプが点灯します。
P.15「通電ランプについて」参照

5 変速スイッチを設定する

変速スイッチを押して、作業に応じた回転数・打撃数を設定します。
P.15「回転数・打撃数の調整」参照

6 スイッチを入れる

穴あけ位置に工具の先を軽く当ててからスイッチを入れます。



ハツリ・破碎する

"打撃"モードでコンクリートの
ハツリ・破碎・溝掘り・角出し・はがし作業

警告

工具の取付け・取りはずしの際は、
スイッチを切り、電源プラグをコンセ
ントから抜いてください。

注意

ハツリ・破碎用工具などは"打撃"モー
ドで使用してください。
"回転+打撃"モードで使用する、工具
が回り、思わぬ事故の原因になります。

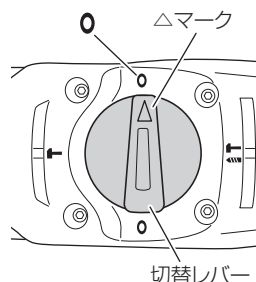
注 気温の低いとき、あるいは長期間使用
しなかったときなどは、5分間位
空運転し、機体が暖まってから使用
してください。
グリースが固くなっている、モーター
が作動しても打撃しない場合があります。

1 工具を取付ける

P.12「工具の取付け・取りはずし」
の手順に従い工具を取付けます。

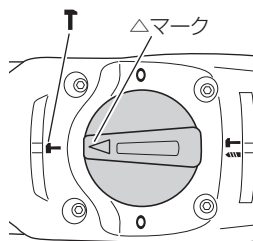
2 工具の向きを決める

コールドチゼル、カッタ、スコップを
使用するとき、△マークを0に合わ
せ、工具先端の向きを決めます。
(P.13「作業モードの設定」参照)



3 作業モードを"打撃"に切り替える

△マークを1に合わせます。
(P.13「作業モードの設定」参照)



4 電源プラグをコンセントにさし込む

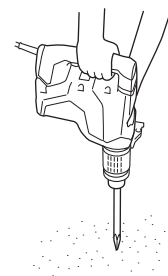
通電ランプが点灯します。
P.15「通電ランプについて」参照

5 変速スイッチを設定する

変速スイッチを押して、作業に応じた
回転数・打撃数を設定します。
P.15「回転数・打撃数の調整」参照

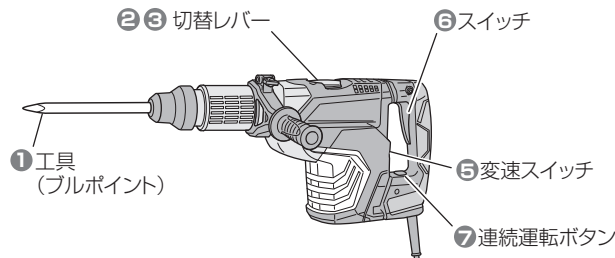
6 スイッチを入れる

ハツリ・破碎する位
置に工具先端を当て
てからスイッチを入
れます。
床面のハツリ・破碎
の際には、機体の自
重を利用し、反動を
押さえる程度に押し
付けて作業してくだ
さい。



7 連続運転を使う

必要に応じて連
続運転を使いま
す。
連続運転を押す
と、スイッチから
手をはなしても
停止しません。
P.14「連続運転
ボタンについて」参照



ドリルチャック【別売部品】の使い方

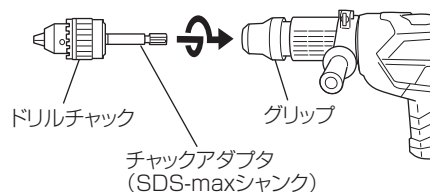
ドリルチャック、チャックアダプタを取付けると、ドリルとして使用できます。
"回転+打撃"モードで使用してください。

1 ドリルチャックにチャックアダプタを取付ける



2 機体にチャックアダプタを取付ける

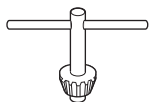
P.12「工具の取付け・取りはずし」の手順に従いチャックアダプタを取付けます。



⚠注意

穴の抜けぎわにドリルを折ることがありますので、穴の抜けぎわに機体を材料に押し付ける力をゆるめてください。

3 チャックハンドルを使ってドリルチャックにドリルを取付ける



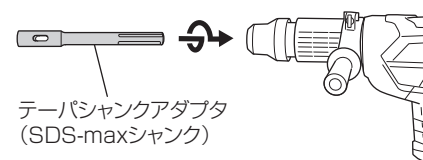
4 以下 P.19「穴をあける」の②からの手順に従い作業する

テーパシャンクアダプタ【別売部品】の使い方

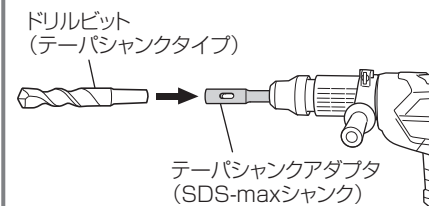
テーパシャンクアダプタを取付けると、テーパシャンクタイプのドリルビットを使用できます。
"回転+打撃"モードで使用してください。

1 テーパシャンクアダプタを機体に取り付ける

P.12の「工具の取付け・取りはずし」の手順に従いテーパシャンクアダプタを取付けます。



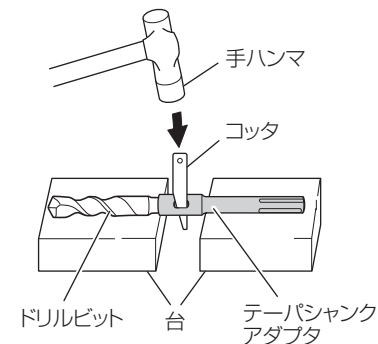
2 ドリルビットをテーパシャンクアダプタにさし込む



3 以下 P.19「穴をあける」の②からの手順に従い作業する

4 ドリルビットをテーパシャンクアダプタから取りはずす

テーパシャンクアダプタの長穴部分にコッタを入れ、コッタの頭を手ハンマでたたいてはずします。



コアビット【別売部品】の使い方

コアビット、センタピン、コアビットシャンクなどのコアビット用別売部品を使用すると、大口径の貫通穴、止まり穴をあけることができます。

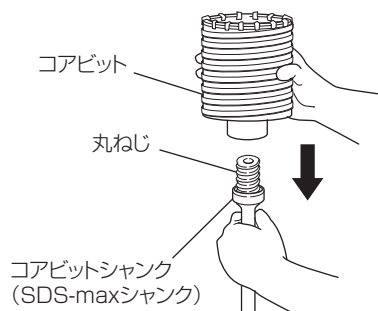
"回転+打撃"モードで使用してください。

⚠警告

コアビットシャンク、ガイドプレート、センタピンの取付け、取りはずしの際、事故を防止するため、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

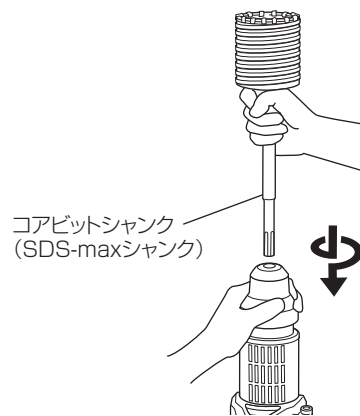
1 コアビットシャンクに コアビットを取付ける

丸ねじ部に油を塗っておくと、分解するときにゆるみやすくなります。



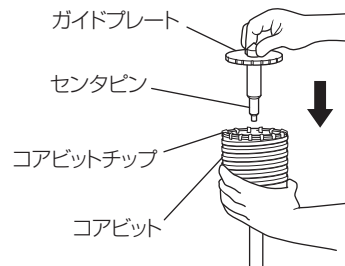
2 コアビットシャンクを 機体に取り付ける

P.12の「工具の取付け・取りはずし」と同じ要領で取付けます。



3 ガイドプレート、センタピンをコアビットにさし込む

- ① ガイドプレートにセンタピンを奥までさし込みます。
- ② ガイドプレートの凹部をコアビットチップに合わせてはめ込み、左・右どちらかに回します。



4 作業モードを "回転+打撃"に切り替える

P.13の「作業モードの設定」を参照してください。

5 電源プラグをコンセントに さし込む

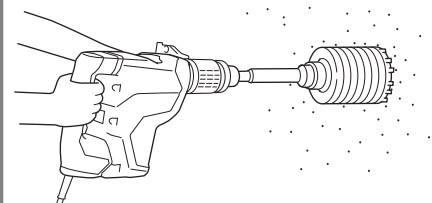
通電ランプが点灯します。
P.15「通電ランプについて」参照

6 変速スイッチを設定する

変速スイッチを押して、作業に応じた回転数を設定します。
P.15「回転数・打撃数の調整」参照

7 スイッチを入れる

あけたい穴の中心にセンタピンを合わせ、穴あけを開始します。



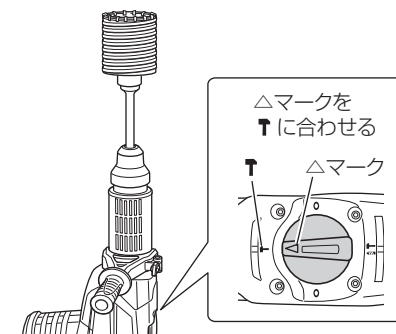
8 位置決めの完成

約5mm穿孔すると位置決めの溝が完成します。

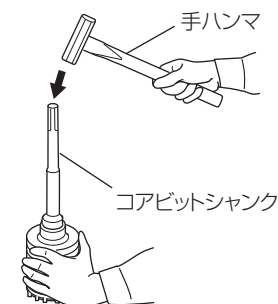
コアビットからセンタピン、ガイドプレートを取りはずして、完成した位置決めの溝に合わせて穴あけを進めます。

9 コアビットを取りはずす

- ① 作業モードを"打撃"にし、コアビットシャンクを機体に挿入したまま上向きにして、2～3回無負荷運転で打撃します。
これでコアビットとコアビットシャンクの締付けがゆるみます。



- ② 機体からコアビットシャンクをはさしてコアビットを手で持ち、コアビットシャンクの頭を手ハンマで2～3回強打すると、丸ねじがゆるみ、取りはずすことができます。



保守・点検

⚠ 警告

点検・お手入れの際は、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

● グリースの交換

この機体はグリース密封構造となっていますので、ほこりの侵入を防ぎ、グリースは漏れない構造となっています。従って、長期間無給油で使用できます。
しかし、機体を長持ちさせるために 6 ヶ月ごとにグリースの交換をしてください。

注 機体へ使用しているグリースは特殊グリースです。他のグリースを使用した場合、性能を著しく損なう恐れがありますので、グリースの交換はお買い求めの販売店に依頼してください。

● 工具の点検

摩耗した工具を使用するとモーターに無理をかけることになり、また能率も落ちますので早めに研磨するか新品と交換してください。

● 機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやねじのゆるみがないか定期的に点検してください。
ねじがゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。
異常がある場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

● 清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

● モーターの取扱いについて

モーター（内蔵）（P.7「各部の名称」参照）に油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

注 ごみやほこりを排出するため、使用後は、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をテールカバーの風穴から吹き込んでください。
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

● 機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が 50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
- 軒先など雨が降りかかる場所、湿気がある場所
- 温度が急変する場所、直射日光が当たる場所
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質が置いてある場所

メ モ

メ モ